

#2321

富士展望シリーズ(12)

金峰山と国師岳

実施日 二〇〇七年十月五日～六日(金～土)

天候 晴れ時々曇り

リーダー 吉田 正之

参加者 横山玲子、吉田正之、佐藤金治、安田三恵子、小松

月子

計 5名

費用 電車 新宿～塩山 往復 4,800円。タクシー

塩山駅～大弛峠 往復 4,220円

宿泊費 一泊二食 7,500円 入浴料 500円

費用計 17,020円

コースタイム 一日目 塩山駅(九時五五分)～十時五分タクシー

大弛峠(十一時五分)～三〇分朝日峠(十二

時)～三〇分昼食(朝日岳)十三時五分～一

五時)金峰山(十四時五〇分)～十五時三〇

分)金峰山小屋(十五時五五分) 泊

二日目

金峰山小屋(六時三〇分)金峰山(七時一〇

分)四〇分朝日岳(八時五〇分)～九時)大

弛峠(十時一〇分)～三〇分)国師岳(十一時

三〇分)十二時二〇分昼食(北奥千丈岳

(十二時三五分)～十三時)夢の庭園(十三時

二〇分)～三〇分)大弛峠(十三時五〇分)～

十四時)はやぶさ温泉(十四時五〇分)～十

六時三〇分打上げ会(塩山駅)十六時四五

分)五八分)

標高2360mの大弛峠までタクシーで入る。たくさんのマイカーが峠の両側に駐車している。ひんやりとした森林帯を登り始め、朝日峠で昼食。ナナカマドが紅く色づき赤い実をつけている。



ダケカンバの黄葉も秋の深まりを感じさせる。朝日岳を登りつめると 前方に金峰山のシンボル五丈岩が見えてきた。

鉄山を巻いて 石楠花の群生や這松地帯を過ぎ、森林限界を超えると、ケルンが目立ち始めやがて大岩の重なりとなり、金峰山頂上に飛び出す。巨大な五丈岩が建造物のようにそそり立ち、大展望台の上に立った感じ。記念撮影の後20分ほど下った金峰山小屋に入る。宿泊客は15名ほどで、コタツで談笑。夜は遥か下に川上村の灯が瞬き、空には満天の星。コタツに足を入れて眠る。

翌朝、小屋を六時三〇分に出発し、ふたたび金峰山頂上へ。快晴の空に富士山が長く裾を引いて美しい。北、中央、南アルプス、八ヶ岳、浅間山、乗鞍など360度の大展望を満喫。



大弛峠に戻る途中、今朝やってきたハイカーが続々と登ってくる。大弛峠から国師岳へは木製の階段が整備されていて、歩きやすい。シャクナゲが多い。ゴゼンタチバナが赤い実をつけている。前国師岳を過ぎ、ほどなく岩場となっている国師岳に到着。風が寒いが富士山を見ながら岩陰で昼食。

ここから15分ほどで 奥秩父最高峰2601mの北奥千丈岳。甲武信岳、雁坂嶺など奥秩父徒走路の峰々が見渡せる。近くの夢の庭園と呼ばれる景勝地を経て、タクシーの待つ大弛峠に戻る。塩山駅への途中、牧丘町の“はやぶさ温泉”で一浴し、ビールで打上げ会。天候に恵まれ、秋の山々を堪能した2日間でした。お疲れ様でした。



(記 吉田正之)